

団体の事業計画をつくる連続講座 **全5回**

2020年度第1期

まち“だ”づくりカレッジ

第1回 6/25(木)  オンライン開催予定 13:00～17:00

ビジョンとミッションを考える

ビジョンとミッションは、組織内部において、何を目指すのかを表す“北極星”です。講義の第1回目は、他組織のビジョンやミッションを学びつつ、左脳(論理や理屈)だけでなく右脳(感覚や感性)もフル回転させるようなワークを行いながら、自組織のビジョンとミッションを共に考えます。

第三者の視点を参考にしながら、関係者間で合意形成をする絶好の機会です！皆さんの参加をお待ちしています。



講師 長浜 洋二

町田市地域活動サポートオフィス
事業統括ディレクター

まち“だ”づくりカレッジ開催日程

2020年度 第1期
2020年6/25(木)、7/21(火)、8/27(木)、
9/24(木)、10/22(木)

2020年度 第2期
10/22(木)、11/26(木)、12/24(木)、
2021年1/28(木)、2/25(木)

※予定、内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。

【対象】町田市内で地域の困りごとに取り組む団体

※託児はありませんが、お子様連れでもご参加いただけます。

【参加条件】・法人格、事業規模、活動分野は問いませんが、活動実績1年以上(準備期間等を含む)の団体。
・全回参加が望ましいですが、希望する回の参加だけでも可能です。
・1団体から2名以上の参加を期待しています。

【参加費】3,000円/1団体 (1回のみ参加は1,000円)

【定員】5団体 **先着順**

申し込み方法

 **申し込みフォームから**

<https://forms.gle/539thpgqvkvx6WbB59>

URLまたはQRコードからアクセスし
必要事項を入力してお申し込みください。



 **メールから**

info@machida-support.or.jp

参加セミナー・参加回の名前、参加者のお名前、
ご所属、連絡先メールアドレスをお知らせください。

今月のコンテンツ

オンラインで“つながる・広がる”活動の輪

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、サポートオフィスでもイベントやセミナー、ご相談対応等をオンラインでも実施しています。今号は、試行錯誤ながらも実施してきたサポートオフィスと支援団体の方々とのオンライン上の取り組みを中心にお届けします。皆さんの活動にオンラインを取り入れるヒントを探っていただけると幸いです。



Now! | 町田市地域活動サポートオフィスの近況

6月1日より事務所を
開所します。
新情報はHPにて
ご確認ください。



緊急事態宣言を受け、対面での相談業務や団体の皆さんへの訪問を控えながらも

『今できることを深め、歩みやサポートを止めない』を合言葉に、情報発信の強化やオンラインでの相談会等の活動を実施。

併せて団体へのオンライン業務のノウハウ提供も行いました。



情報発信強化

お届けする内容に適したツール(ホームページ・SNS等)で
発信することを心掛けています。

レポート 2020年05月08日

【情報ピックアップ】町田の団体のチャレンジご紹介 ～新型コロナウィルス拡大の中での新たなチャレンジをご紹介します～

サポートオフィスがキャッチした町田市内の団体による新型コロナウイルス感染拡大における新たな取り組みをご紹介します。新しい取り組みを今後随時追加していきます！

◆つるかわ無料塾 結い × 特定非営利活動法人チーム浅沼屋

サポートオフィスでおつなぎさせていただいた無料塾結いさんとチーム浅沼屋さんによるプロジェクト。

チーム浅沼屋さんは、淵野辺駅近くにあるラーメン屋浅沼屋さんの店長が「ALS」を発病したことをきっかけに、地域のため子どもたちのために活動したいと志して結成したNPO。

つるかわ無料塾結いさんは、鶴川で毎週水曜学習支援の活動をされています。昨年は、サポート

▲ ホームページ

スタッフによるコラムやセミナーの情報ははじめ、各団体のコロナ対策の活動情報等、**情報量が多い記事を集中的に公開**しました。

町田市地域活動サポートオフィス
5月19日 18:04

【助成金情報】ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援 2020年度(第20回)新規助成

「心とからだのヘルスケア」の領域で活躍する市民団体や患者団体・障がい者団体による「健やかなコミュニティづくり」の試みを支援。3年間の継続助成制度や、人件費や家賃・光熱費などの事務局経費も対象とする点が特徴的な助成プログラム。

・応募期間
2020年6月15日(月)～6月30日(火)【必着】

・助成金
1件あたり50万円～300万円。総額は1,500万円

・助成期間
2020年12月31日まで

▲ Facebook

タイムリーに届けたい記事を中心に配信。ホームページへのリンクを表示することで、多くの方を詳細の記事へ誘導できました。



オンライン相談会

「開催場所と時間の制約が少なく参加しやすい」という
利点を活用し相談を実施しました。

〈具体例〉

- ・北海道、静岡、大阪などの遠隔地⇄町田市内の団体をオンラインでつなぎ、先行事例のヒアリング会や勉強会を実施
- ・時間の制約があり、普段なかなか打ち合わせに参加できない方を週末や夜の時間帯にオンラインでつなぎ相談を実施

詳しい事例を中面でも紹介しています。こちらをご覧ください。



Report | 伴走支援レポート

コロナ状況下でも試行錯誤を重ねながら前進されている2団体にスポットを当て、活動状況やサポートオフィスとのオンライン相談の感想をお伺いしました。

Report
16

特定非営利活動法人 ゆどうふ

新規プロジェクトの企画実現度を高める 情報交換会を実施

ひきこもり等でお悩みの若者とご家族をサポートしているゆどうふでは、フリースペースの運営を中心にカウンセリングや訪問支援を行う若者支援事業と「自分らしく表現する楽しさ」を体感する音楽事業を展開。若者と立ち上げる地域活動プロジェクト「わらしべ」の準備がコロナ禍で進められない分、先行事例を持つ北海道と静岡県の団体と意見交換をする機会をサポートオフィスで調整し、プロジェクトの方向性を共に深めました。

団体プロフィール

名称 特定非営利活動法人 ゆどうふ
所在地 東京都町田市小山町2595-1
メール info@yudofu.or.jp
HP http://yudofu.or.jp
代表 辻岡 秀夫



オンライン相談を体験した感想

オンラインで業務の自由度が高まりました

当初は双方向のコミュニケーションが取れないのでは?と心配していましたが、実際はコミュニケーションの本質は変わらないと実感。現在では、団体の活動にもオンラインを導入し、普段はつながることが難しい遠隔地にいる若者たちとつながる>という新たな展望を持っています。現在はカウンセリングにも活用し好評です。(代表/辻岡 秀夫様より)

Report
17

町田第五小学校PTAプロジェクト

オンラインだからこその手軽さで、 普段出会えない人との接点づくりが実現

玉川学園にある町田第五小学校PTAは、PTAの成り手不足を解消し、卒業生の保護者を含む地域の方にも力を借りて、PTAを「地域で学校や子どもたちをサポートできる応援団」にすべく、改革に取り組まれています。企業からの助成も決定し、その改革を本格始動しようとした矢先に緊急事態宣言が出され全活動が中止に。その状況を逆手に、ユニークな取り組みで成果を上げている大阪のPTA会長さんらをサポートオフィスが紹介し、オンライン上のヒアリング会を実施。活発な意見交換の後、参加メンバー間でFacebookのグループも立ち上がり、様々なアドバイスや資料の共有が続いています。

団体プロフィール

名称 町田第五小学校PTAプロジェクト
PTA会長 秋田 志津香



オンライン相談を体験した感想

距離を超えた新たなつながりに勇気が湧きました

緊急事態宣言を受け何もできないことがない現実、これだけよいのかと思いながら過ごしていた時、サポートオフィスがPTA改革のレジェンドと呼ばれる大阪の方々とオンラインでつないでくれました。皆さんと楽しくも、具体的な取り組みについても話すことで、コロナが落ち着いた後にPTAで実現したいことがより明確になりました。(PTA会長/秋田 志津香様より)

Column | オンライン会議ってどうやるの?

お互いの顔を見ての対話や資料の共有等が気軽にできるオンライン会議のお役立ち情報を、サポートオフィスのホームページでご紹介しています。今後は、オンライン会議が定着していくことが予想されています。この機会にぜひチャレンジしてみてください。

オンライン会議の
はじめかた・すずめかた
QRコードからアクセスください



Activity | 活動報告

今回紹介したセミナー以外にもこれまでに開催したイベントのレポートもホームページに掲載しています。ご関心のある方はそちらもチェックしてください!

Activity

10 ファシリテーション基礎セミナー1

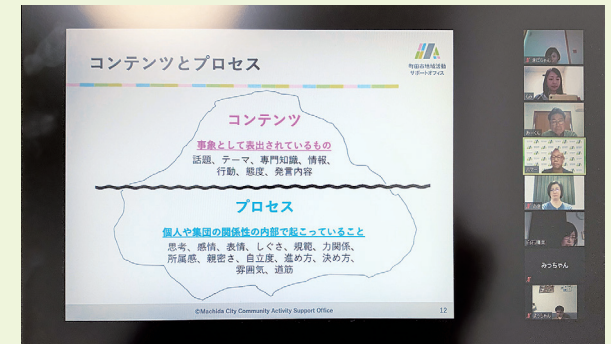
2020年4月22日(水)
@オンラインで実施

POINT! 話をする人の気持ちに変化を起こすファシリテーションの基礎を、4つの枠組みを通して体感する

「長時間の打ち合わせをしてもアイデアがでない」など会議での困りごとがある方や、育児や友人とのやり取りの場面で「相手の話をうまく引き出したい」など考えている方を対象とした本セミナー。第1回目はファシリテーターの役割を確認し、「**場を設計する**」→「**場を深める**」→「**場をまとめる**」→「**場を決める**」というファシリテーションの基本的な枠組みを学びました。そして今回は、オンライン会議アプリ「Zoom」を使って実施したことになみ、より**快適にZoomを使いこなすコツもレクチャー**。実際に手を動かしながら操作方法を習得する機会にもなりました。

参加者アンケート

- 講師の説明にあった「意見の対立は悪ではない」という点が印象的だった。
- オンライン実施でもグループワークがあったので参加者へ親近感がわきました。
- 講師がZoomに精通されており、わかりやすく使い方を教えてください心強かったです。



Activity

11 ファシリテーション基礎セミナー2

2020年5月21日(木)
@オンラインで実施

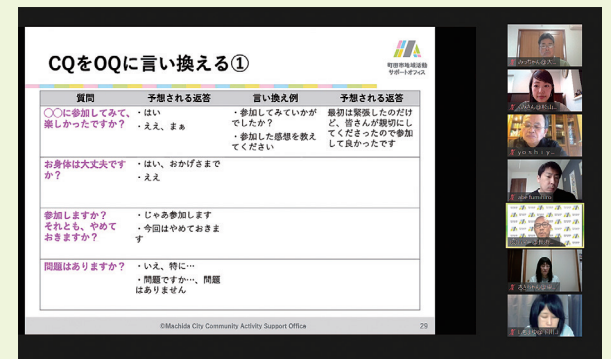
POINT! 対話を通じ自分のコミュニケーションの癖を知り、傾聴力と質問力を鍛える

第2回目は、ファシリテーターとして身に付けておきたい「**傾聴力**」と「**質問力**」に**フォーカス**。今回の大きな特徴は、「**内的傾聴とは何かを考へる**」「**相手の発言を要約する練習**」「**相手の話を5分間傾聴する練習**」「**オープンクエスチョンに変換する練習**」など、グループごとのワークショップに大きく時間を取ったことです。

これにより、冒頭で講師が今日のゴールとして示していた「**自分のコミュニケーションの癖に気づく**」「**傾聴力・質問力を上げるために今日からできる最初の一步をつかむ**」という点に対し、様々な気づきを得ることができたセミナーとなりました。

参加者アンケート

- 具体的ですぐに実践できそうな内容でした。ワークも時間が足りないくらい楽しかったです。
- 会議だけではなく、日常においても、いつもよりも少しだけ目を見て言葉を聞き、何が言いたいのか考えるだけでコミュニケーションが深まり、もっと毎日が楽しくなると気付くことができました。



MEMO

オンラインで『まちだづくりサロン』も開催しました!

5月15日には、『まちだづくりサロン VOL.1』をオンラインで開催しました。今回のテーマは「みんなで話そう、活動の悩み、工夫、これからのこと」。イベントの中止や居場所閉鎖で思うように活動ができないなど、試行錯誤する毎日だからこそその気づきや想いを参加者全員でシェアしました。

まとめ

ここまでの取り組みを通じ、オンラインならではのメリットをたくさん確認できました。今後も引き続きオンラインイベントや相談を実施していきますのでご期待ください!